

平成29年度 授業改善結果の検証について

学校名 中央区立月島第三小学校

校長名 小野内 雄三

<p>授業改善の 基本方針</p>	<p>取組範囲 (○) 全教科・() 学習力サポートテストの教科・() 重点教科</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習力サポートテスト等の結果を分析・考察し、児童の理解が不十分で、習熟が低い内容については、再度指導をしたり、指導法を工夫したりして、習熟を図る。 ・一人一人の課題を明確にし、個に応じた指導を重視する。 ・「主体的・対話的で深い学び」を通じた問題解決学習において思考力・表現力・判断力を育てる。 ・小集団による協働的な学習活動を通して、話す・聞く力を高める。 	
<p>授業改善の 主な取組</p>	<p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ○算数では必要に応じて柔軟に単元の時間数の増減や単元の順序の入れ替え等の工夫をする。 ○漢字の読み書き、音読や暗唱、対話、発表などにより基本的な国語の力を定着させる。 ○問題解決能力を育てるために、自分の考えを図や文で表現する場を授業を展開する上で、本時のねらいを踏まえて意図的に設定する。 ○「話す力・聞く力」を高めるために話型やメモの指導などを日常的な活動の中で行う。 	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○指導者同士の打ち合わせや情報共有を丁寧にしたので、教材研究の場としても有効だった。 ○はげみタイムや家庭学習、放課後学習教室を活用し、継続的に取り組むことで国語・算数の基本的な力が付いてきた。 ○問題場面を図で表し、グループで話し合うことによって、考える力が付いてきた。 ○朝の会や帰りの会などを活用し継続的な指導をすることで「話す力・聞く力」が付いてきた。
<p>個に応じた 指導の工夫</p>	<p>重点的に取り組んだ指導の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ○算数の少人数指導では、習熟度別にグループ編成をし、下位層の児童のグループは人数を少なくし、個別指導を充実する。 ○小グループでの学習等、学習形態の工夫をする。 ○ノートやワークシートのチェック、東京ベックドル等により児童の実態を把握し、理解が不十分な内容は再度指導する。 	<p>成果または課題</p> <ul style="list-style-type: none"> ○個別指導の時間を十分に確保することにより、学習意欲が向上した。上位層の児童のグループでは発展問題に取り組むことができた。学校全体で「数学的な考え方」の理解には課題があり、継続的な指導が必要である。 ○小グループでの学び合い等、言語活動を充実させることで学力の向上につながった。 ○指導と評価の一体化を意識し、授業改善していくことで力を付けることができた。
<p>授業改善の 検証方法</p>	<p>検証として取り組んだ項目に○を付けてください。</p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 管理職による授業観察の検証 (○) 教員相互での授業参観による検証 (○) 校内研究での検証（研究授業等含む） (○) 学習力サポートテスト、定期テスト等の結果による検証 (○) 作品や提出物の評価による検証 (○) 学校評価における教員の自己評価の検証 (○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証 (○) 外部評価委員会における検証 () その他< <p style="text-align: right;">></p>	
<p>授業改善の 主な結果</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p><児童・生徒></p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 学習意欲がより高まった。 (○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。 (○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。 (○) 学力（学習の到達度）の向上が図られた。 <p><教員></p> <ul style="list-style-type: none"> (○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。 (○) 授業の指導技術が向上した。 (○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。 () その他< <p style="text-align: right;">></p>	